

ご挨拶

取締役 技術本部長

平原 勝



世界経済は景気刺激策により回復の動きが見られますが、失業率は雇用の減少で依然として深刻な状況にあります。その中で、特にアジアにおける中国を中心とした経済の回復が、2010年の先進国の景気の持ち直しに大きく牽引しており、また、中国のGDPは今年中に日本を抜き世界第2位になる勢いです。しかし、世界的な金融・経済危機は最悪期を脱したとはいえ、世界経済が安定かつ維持可能な成長路線に復帰するには当分時間が掛かりそうです。欧米の経済回復のテンポが世界経済に与える影響は大きく、早い回復が望まれるところです。

国内の景気失速は、リーマンショックによる需要減少に伴う輸出の急激な落ち込みが最大原因であり、日本を支えてきた製造業は慢性的な過剰供給体質（デフレギャップ）の調整を迫られています。また、縮小均衡、少子高齢化、アジアの成長、地球環境問題など日本を取り巻く経済社会環境が、新たな成長産業を構築するチャンスをもたらしてくれることを期待しています。昨年の政権交代による連立政権下での事業仕分けも大切ですが、企業が設備投資を計画するための方針および経済の活性化につながる施策を願っています。

弊社はお客様が「環境、資源、エネルギー」をキーワードとして、また汎用品から高機能・高付加価値品へと生産設備のシフトを進められていく中、お客様の多様化・高度化する要求にお応えするために、建設から設備メンテナンスに関して「最適整備」を目指し、さらにお客様に「期待以上の満足度」を提供するために、技術・技能の開発を強力に推進しております。

また弊社は、基本方針として「モノづくり」を担うお客様に対し、設備に関する良質な提案ができる「屈強なパートナー企業」となることを目指し、努力いたしております。

建設から設備メンテナンスおよび装置開発・製作におきましても、お客様から「信頼され、任せられる人・企業」となり、またお客様の望むプラスワンを提供できる企業となるために、若手社員の技能オリンピック全社大会、TPM活動、NK活動、技術発表会、開発会議等を通じ、品質の良いサービスおよび製品をより安く・早く提供することを基本に努力いたしております。

本号では技術論文、弊社のメンテナンスへの取り組み、技術開発、装置開発、工事並びにNK活動報告の一端を紹介させて頂いております。各論文、製品紹介等を一読頂きご意見いただければ幸いです。お客様に期待され、常に斬新な提案ができる企業であり続けるよう努力してまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。